

岸和田市教育大綱（素案）に係るご意見一覧

パブリックコメント実施期間：平成28年1月4日～2月4日

No.	ご意見
1	<p>まず昨今の岸和田市の現状を鑑みると隣接する和泉市および泉佐野市に勢いという面で大きく負けているように感じます。この状態で岸和田市民として誇りを持てる郷土愛などと言われても説得力に欠けると言わざるを得ません。岸和田市外の人に岸和田のイメージを聞くと、だんじりもしくは清原さらには治安が悪そう、ガラが悪そうという答えが圧倒的に多いです。治安が悪い、ガラが悪いなどは今までの教育が失敗していることを物語っていると思います。だんじりの威勢・元気の良さとはき違えていませんか。</p> <p>また少子化が進む中、今最も力を注がなければならないのは教育であると思います。安心して子供が育てられるまちづくりをしなければならないと思います。保育所の数という意味での拡充はもちろんのことですが、保育所の質も高めていかなければなりません。今現在日本で人口増を達成している島根県海士町の例などを参考にされましたか？当たり障りの無いことだけをつらつらと書いているように思います。情熱が感じられません。</p> <p>私個人としては教職員の質の向上に勝る方策はないと思いますが、肝心のその対策には研修の充実しか書かれていません。現状では競争の激しい私立の教職員に公立の教職員が勝つことなど不可能です。教職員及び指導員は学校に於いて生徒及びその保護者から信頼はもちろん尊敬されるべきです。また尊敬されるような人格者を選ぶ必要があると思います。そのような人材を集めるもしくは育てる仕組みづくりについてもっと議論していただきたいです。どうしても生徒の保護ばかり考えているように思いますが、教職員の保護及び働きがいのある職場作りも考えていただきたいです。</p> <p>最後に先ほども言いましたように今教育はもっとも注力しなければならない事業だと思います。教育大綱を決めるにあたり会議で一言も発しない市長はどの様にお考えなのでしょうか。発言する権限がないのでしょうか。</p>
2	<p>平成28年4月よりアレルギー児童に対して「卵・乳・小麦・えび」以外の完全除去対応を実施していただけないとお聞きしています。</p> <p>現在の小学校給食では、上記以外の完全除去対応を実施していただけているのですが引き続きアレルギー児童たちについても「学校給食、食育の充実」を踏まえた学校給食を提供していただけないでしょうか？</p>
3	<p>1) 「栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供します」とありますが、卵・乳・小麦・エビ以外の食物アレルギーをもつ児童への給食が4月より提供されません。方針に違反するのではないのでしょうか？</p> <p>2) 「栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供します」とありますが、食物アレルギーをもつ児童へ安心・安全な給食を提供するために特定原材料27品目を除外した献立を作成することで、安全性が高まるのではないかと？</p> <p>3) 「児童・生徒の栄養補完」とありますが、給食を提供してもらえない食物アレルギー児童には栄養の保管ができないと思います。その点についてはどのようにお考えですか？</p> <p>4) 「家庭の子育てを支援するため」との記載がありますが、毎日のようにお弁当を持参しなければいけない食物アレルギー児童の保護者にお弁当づくりを強いることは、子育てを支援することにならないと思います。特に働く母親にとっては、かなりの負担（精神的、肉体的、金銭的）になります。一部の保護者には支援が低下することにどのようにお考えでしょうか？一部は切り捨てでしょうか？</p>
4	<p><基3-③④について></p> <p>児童・生徒一人ひとりが、一人の人間として人格を育てていくためには、人（親や教師・地域など）との温かく密接な関係が必要だと思う。その為には1クラス35人以下の少人数数学級が、小・中学校通して必要だと考えます。</p> <p>先生がゆとりを持って生徒や保護者等と対応できたり、生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた向き合いが出来ると思う。</p> <p>いじめの芽も早期に対応できるはず。</p> <p>少人数数学級の小・中学校での早期実現を望みます！</p> <p><基4-①について></p> <p>子ども達の健やかな成長の為、給食は不可欠です。アレルギーのある児にとっても同様！保育所では誤食を起こさないよう。安全の配慮が行き届くよう職員にも子どもにも学習を行ないながら進めている。卒園する頃には、ずいぶん改善されて小への入学を抑えています。小の給食も これまで調理員の努力でアレルギー対応を進めてきています。4月からも、これまで通りのアレルギー対応を続けていって下さい。岸和田らしい暖かい対応を！</p>

No.	ご意見
5	<p>小学校給食のアレルギー対応の変更で、子供はいままで食べられていたメニューが食べられなくなり、食べられない分を家で作らなくてはならないとのこと。働く母親の負担が大きくなるのが給食理念の育児支援と言えるのでしょうか？</p>
6	<p>学校給食、食育のところで、『児童生徒の栄養補完や家庭の子育て支援するため』と書いているのならば、今回のガイドライン改訂はおかしいと思います。給食を提供されない子がどれだけ増えるか。アレルギーの子ども達の食育は、考えてもらえないのでしょうか？アレルギーの子ども達を見捨てないでください！お願いします！</p>
7	<p>学校給食、食育の充実について 食育の中に ぜひ アレルギー児童への対応や配慮も もりこんで下さい。 「むっちゃんの食堂車」「ふしぎの山の診療所」という絵本もあります。 ぜひ 子供たちにおいしい給食を、という中にアレルギーの子も入れて下さい。 現状維持の除去食の給食を切に願います。</p>
8	<p>基本方針4の①について 学校給食でアレルギー児の除去食材数をへらし、その食材以外のアレルギーがある場合は「お弁当を持っていく」という方針が出されたと聞きました。現在、岸和田市では努力と配慮でたくさんのアレルギー児に対応して学校給食を提供しています。 今、できている事を何故へらす方向へいくのかがわかりません。 近年、仕事の在り方が変わってきて長時間労働、低賃金・非正規職があたり前の働き方になってきています。そんな不安定さの中で働きづらさが大きくなり、その事が育児放棄につながってきている現状があります。 朝食をつくらない。夕食もコンビニやファーストフードであったり、外食ですませしてしまう家庭がふえています。私自身も保育現場で仕事をしてきてそんな家庭がふえているのを実感してきました。 そんな現状の中アレルギーをもっている子どもの保護者がお弁当をつくれる条件を必ずもっているわけではありません。 市民から現在の学校給食への不満はありません。むしろ喜こんでもらえていると思います。それなのに何故マイナスの方向に向かっていくのでしょうか。岸和田市民として誇れる事業であったはずで 今一度 未来ある子どもの成長を願い子どもの立場に立って大人として 今の子どもたちに何をしてあげられるのか考えていただきたいと思います。 基本方針3の“一人ひとりが自他を尊重し〜”でもあるように食の面からも「いろんな子がいて大丈夫」と子どもたちにしめしていける事を大切に、「子育てするなら岸和田で」を実践していきましょう。</p>
9	<p>学校給食、食育の充実についてのところ アレルギーのこどもたちの食べれる給食にしてやってください。 岸和田では給食のレベルがかなりいいと聞き及んでいました。 なのに、4月からレベルをさげるとのこと。 地産地消のおいしいものを食べると元気になります。 子供たちの元気をつくる、岸和田であってほしいとおもいます。 よろしく願います。</p>